

江戸会長の開会あいさつ



健康友の会みみはら 第32回総代会開催

第32回健康友の会総代会が6月1日（土）、みみはにホールにおいて代表世話人16人、代議員71人の出席で行われました。主催者を代表し、江戸会長から開会あいさつ、法人を代表して、斎藤理事長のあいさつ、そして平賀の方からメッセージをいただきました。オブザーバーを含め全体で133人の参加がありました。

土井事務局長より第1号議案「18年度の総括と19年度の方針」が提案されました。昨年度は仲間増やしだけで、今年度はみみはらを支えていた

る人の幅を増やすことがで
きていた結果です。

昨年は、台風などによる
自然災害が多く、ブロック
や支部で災害に対する学習
にも取り組んできました。
安井校区での支部結成に向
けた準備や、助け合いの活
動「お出かけ助つ人隊」が
スタートしました。

19年度の方針の「安心し
てすみ続けられるまちづくり

組織づくり、日々大きく変化する情勢や方針を学び、力強い友の会の組織づくりを確認しました。

2号議案では新役員体制の提案があり、新たに事務局次長に篠原氏を加えることが確認されました。

討論では、7つのブログクから日々の活動の報告がありました。

また選挙戦の忙しい合間

訴えをする
野村ともあき市長候補

議員の皆様へ、日々大きく変化する情勢や方針を学び、互いに友の会の組織づくりを確認しました。この議案では新役員体制案があり、新たに事務長に篠原氏を加えること確認されました。説明では、7つのプロジェクトにより日々の活動の報告がされました。

の激戦地跡から普天間飛行場が見える。お話を最中爆音、オスプレイが頭上を行つた。翌日は新基地建設が進むキヤンブシリワブ、ゲート前に工事車両がついた途端機動隊員の抗議者妨害が始まつた。離れる後ろめたさを感じながら土砂投入の海ブルーであろう▼昔、母が「沖縄を返せ」を歌つていた。最後のフレーズを繰り返すのでそこだけすぐに覚えた。ハーグ陸戦法規を無視し米軍は沖縄を奪つた。県民の沖縄を返せの叫びは今も続く。今年も自然災害の季節に入る。新基地建設と高額な武器の購入はもはや政治による人為災害である。本土からの沖縄連帯は軍事費を削つて医療、社会保障、災害対策に回せと政府に声をあげることだ。(和)

みみはらうグループの連携で
安心して住みつづけられる
まちづくりを

聽診器

2016年
の熊本地震の
際、民医連は
全国から支援
に駆けつけ
た。まず大牟
田市の米の山
病院に集まつ
てここから分散して熊本
市内、私は南阿蘇に向か
った。新築米の山病院は
ガラスのファサード、そ
の前に石碑がある。炭鉱
労働者で作曲家の荒木栄
碑である。「がんばろ
う」「この勝利ひびけど
どろけ」「沖縄を返せ」
たくさんの作品を残し38
歳、この旧病院で亡くな
った▼5月、全日本民医
連辺野古沖縄連帯に参加
した。第46次、毎回40
50人が参加するのでこれ
まで約2000名が行つ
たことになる。地元瀬長
さんのガイドで嘉数高台
から見学が始まつた。こ
の激戦地跡から普天間飛
行場が見える。お話の最
中爆音、オスプレイが頭
上を行つた。翌日は新基
地建設が進むキヤンブシ
ユワブ、ゲート前に工事
車両がついた途端機動隊
員の抗議者妨害が始まつ
た。離れる後ろめたさを
感じながら土砂投入の海
へ、なんと品のある深い
ブルーであろう▼昔、母
が「沖縄を返せ」を歌つ
ていた。最後のフレーズ
を繰り返すのでそこだけ
すぐに覚えた。ハーグ陸
戦法規を無視し米軍は沖
縄を奪つた。県民の沖縄
を返せの叫びは今も続
く。今年も自然災害の季
節に入る。新基地建設と
高額な武器の購入はもは
や政治による人為災害で
ある。本土からの沖縄連
帯は軍事費を削つて医
療、社会保障、災害対策
に回せと政府に声をあげ
ることだ。(和)